

### 第3学年国語科学習指導案

児童 3年1組 男13名 女15名 計28名  
指導者 八重 檜 深 雪

相手の考えを受け入れ、登場人物の人柄について交流し合う学習活動の工夫

1 単元名 物語を読んで、しょうかいしよう (学習材名「モチモチの木」(光村3年下)他)

#### 2 単元について

##### (1) 児童の実態

児童は、これまでに、「きつつきの商売」では、場面の様子や情景を、叙述を基に想像しながら読む学習をしてきた。「三年とうげ」では、お話のおもしろさをとらえる学習を、「ちいちゃんのかげおくり」では、読み取った内容について自分の考えをまとめる学習をしてきた。これらの学習を通して、叙述を基に想像を広げて読むようになってきている。しかし、登場人物の気持ちの変化や性格など人物像を中核に読むことは十分ではない。

「対話」を通して互いの考えを聞き合うことについては、自分の経験や考えと比べて聞き分けることと、話の筋に沿って聞き返すことを学習してきた。この学習の中で、相手の考えを受け入れ聞き合おうとするようになってきている。

これらのことから、登場人物の行動を表す言葉や会話文に即しながら、登場人物の人物像を読む力をつけていくこと、相手の考えを受け入れ聞き合う中で、互いの感じ方について違いのあることに気付くことが大切であると考えられる。

##### (2) 主たる指導事項と学習材

(P 17 参照)

##### (3) 指導に当たって

(P 17 参照)

#### 3 単元の目標

(P 18 参照)

#### 4 単元の評価規準

(P 18 参照)

#### 5 学習指導計画 (13時間扱い)

(P 18 参照)

## 6 本時の指導

### (1) ねらい

- ・登場人物の人柄について、相手の考えを受け入れ聞き合おうとしている。

[対話の情意的要素]

- ・登場人物の人柄について、互いの感じ方に違いのあることに気付くことができる。

〔「読むこと」の能力〕

### (2) 展開

段階	学習活動	時間	◇ 学習内容	教師の関わり ☆評価 (方法)
みとおす	1 本時の学習課題を確認する。 登場人物の人がらについて聞き合おう。	5分	◇学習課題を確認すること。 ・自分の感じ方と相手の感じ方を比べて聞くこと。	・聞き合うときは、自分の感じ方と相手の感じ方を比べながら聞くことを確認する。
ふかめる	2 登場人物の人柄について聞き合う。 (1) 対話の進め方を確認する。  (2) 1回目の対話をする。  (3) 全体で聞き合う。  (4) 相手を替えて2回目の対話をする。  (5) 5人の登場人物の人柄について考える。	28分	・対話の進め方を確認すること。 ①A：登場人物の人柄とそう考えた理由を話す。→聞いたことを確かめる。 ②B：質問や思ったことを話す。 ③B：登場人物の人柄とそう考えた理由を話す。→聞いたことを確かめる。 ④A：質問や思ったことを話す。 ⑤まとめる。 ◇互いの感じ方に違いのあることに気付くこと。 ①A：〇〇の人柄は、△△としました。理由は、・・・・です。 ②B：Aさんは、△△とは、どういうことだと思いますか。 A：△△とは、・・・・と思います。 ②B：わたしも、〇〇の・・・・のところが、△△としました。 ③B：わたしが感じた〇〇の人柄は、Aさんと違って、□□と思いました。理由は、・・・・です。 ④ ⑤A：まとめます。対話をして、・・が（同じ・違う・似ている）でした。 ・5人の登場人物の人柄について考えること。	・「豆太」についての交流を想起させ、進め方を確認する。 ・同じ登場人物について対話させる。  ☆登場人物の人柄について、互いの感じ方に違いのあることに気付いている。(対話・ノート) [努力を要する児童への手立て] 人柄が同じか違うか、理由が同じか違うか、整理して考えさせる。 ☆登場人物の人柄について、友達の考えに共感したり、詳しく知りたいことを質問したりしようとしている。(対話・ノート) [努力を要する児童への手立て] 友達の考えを聞いて、思ったことを考えさせる。  ・5人の登場人物に対する感想を聞き、5作品の登場人物に共通している人柄を感じさせる。
まとめ	3 学習の振り返りとまとめをする。  4 登場人物事典を完成させる。	12分	◇単元を振り返り、学習のまとめを書くこと。 ・登場人物の人物像を読む力について。 ・交流を通して感じたことについて。 ・今後の読書生活について。 ◇登場人物事典を完成させること。	・学習のねらいと計画を基に、身に付いた力について確認する。  ・登場人物事典の完成を喜び合わせたい。